

収支シミュレーション

令和4年2月16日

公認会計士 甲斐野新一郎

1. 早期経過規制度と成行シミュレーション

【改善事項】
経営戦略・計画の妥当性の説明

	現状を踏まえた将来の収益・費用の見通し 【成行シミュレーション】					収支改善を踏まえた将来の収益・費用の見通し 【中期財務計画】				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
信用事業総利益										
共済事業総利益										
購買事業総利益										
販売事業総利益										
その他事業総利益										
事業総利益計										
事業管理費										
事業利益										
コア事業純益										

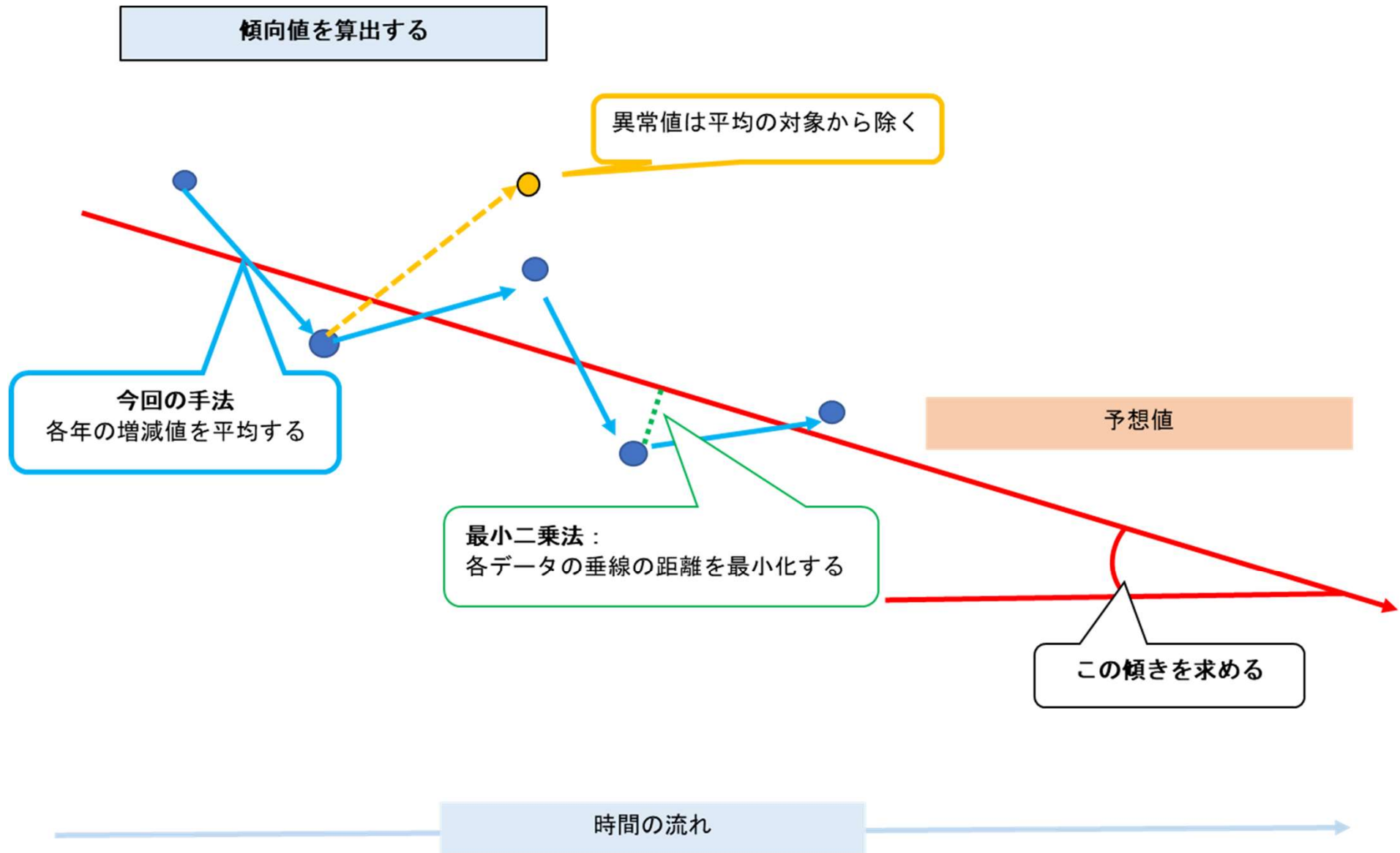
コア事業純益が一定
水準を下回る

コア事業純益が継続
的に赤字

ステップ2へ

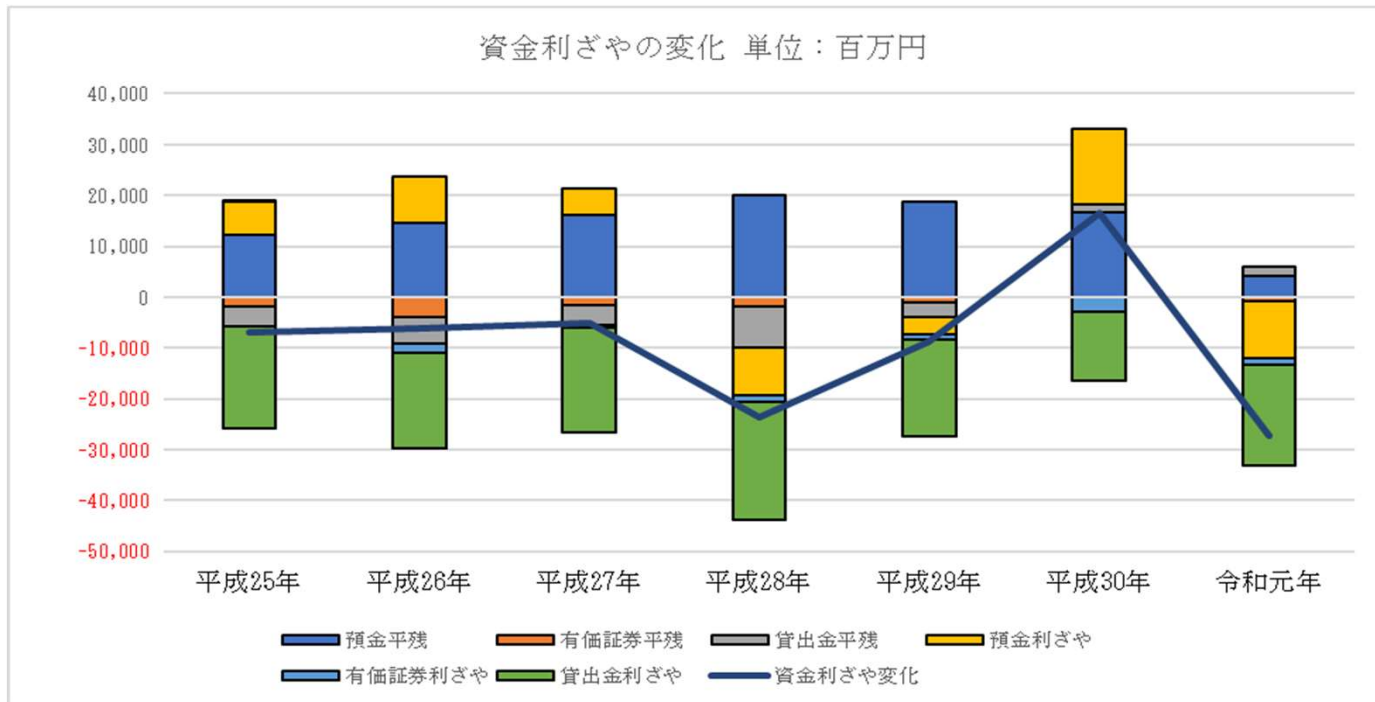
ステップ3へ

1.トレンドの把握

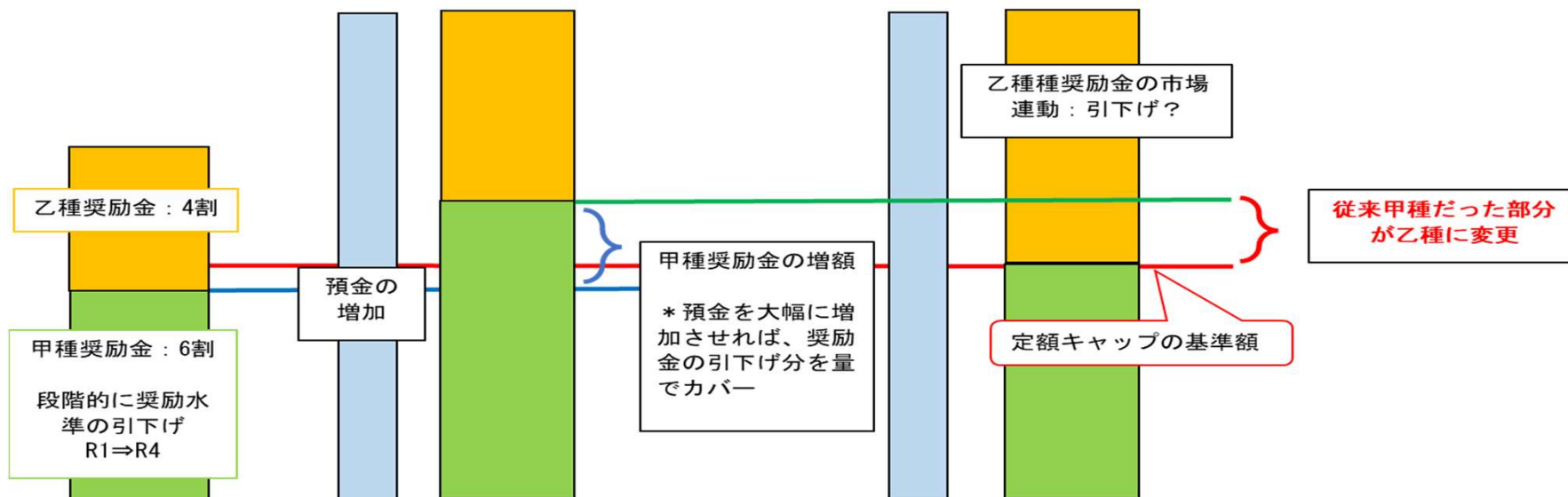


【Excelの関数の利用】
FORECAST(x, 既知の y, 既知の x) 基地部分の固定：\$

1. 信用事業のトレンド分析



定額キャップの影響

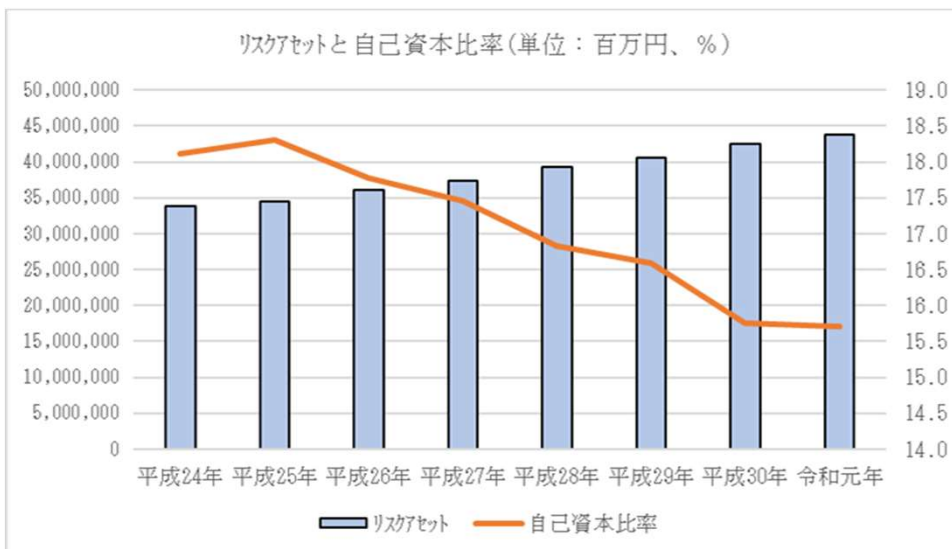
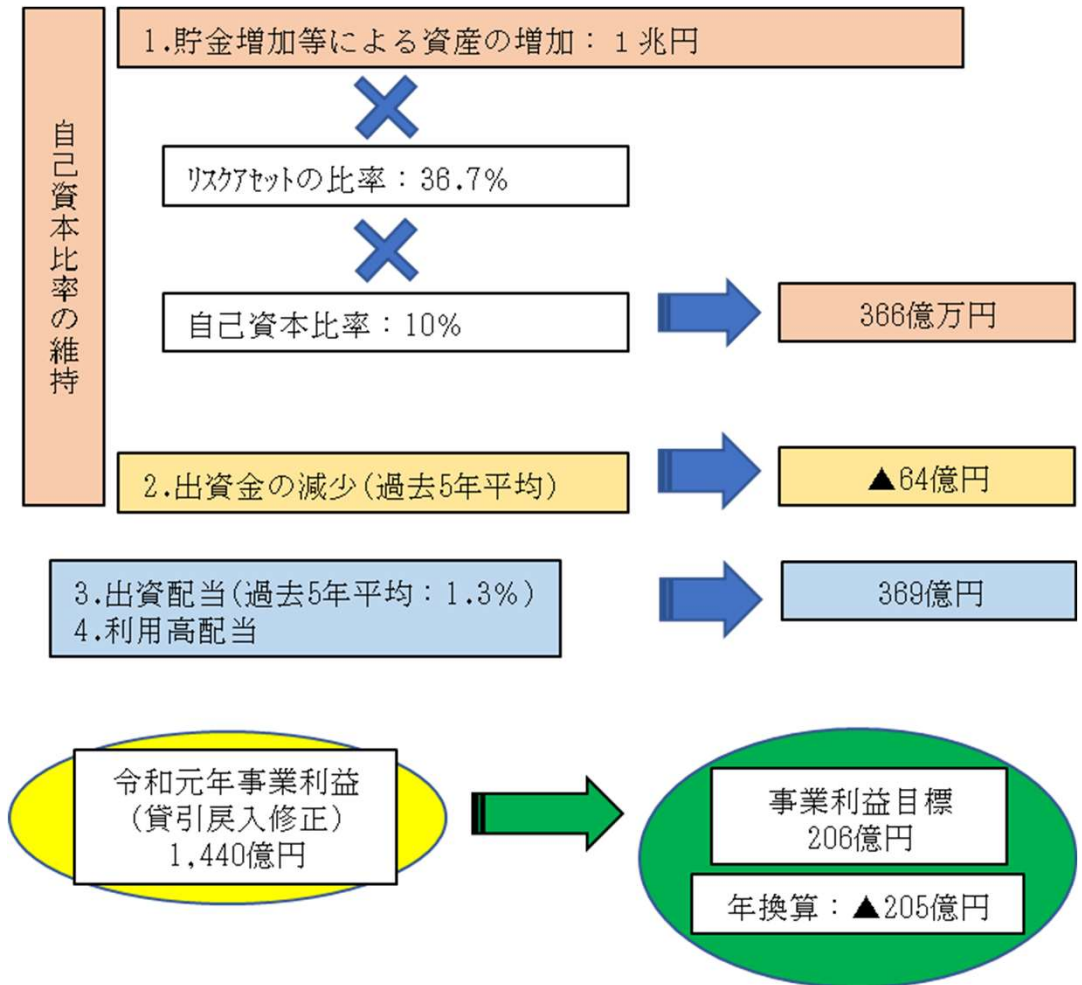


1. 目標利益

【監督指針】

農協全体及び信用事業、共済事業、販売事業、購買事業等の各事業ごとの現状を踏まえた将来の収益及び費用の見通し並びに現状の見通しに収支改善を踏まえた将来の収益及び費用の見通し（以下「中長期の収支シミュレーション」という。）により、事業及び経営上の課題を洗い出すとともに、健全で持続性のある経営を確保する上で必要な**目標利益**等が設定されていること

①貯金増加額	999,029	5年平均
②リスクアセット比率	38.2	5年平均
③リスクアセット増加額(①×②)	381,810	
④自己資本比率(想定)	10.00	☆設定
⑤必要自己資本額(③×④)	38,181	
⑥出資金減少額	-6,452	5年平均
⑦出資配当	20,909	0.01210
⑧必要利益額=⑤+⑥+⑦	65,542	
⑨利益付加	目的積立金	
	利用高配当	16,019
	その他	
⑩目標利益額(当期剰余金)	81,561	
⑪事業外・特別損益	72,694	
⑫法人税	-13,771	
⑬目標事業利益額	22,638	



1. 成り行きシミュレーション

【成行】	実績			推計						R1⇒R7(6年)	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R1⇒R7実績	年率
信用事業総利益	730,712	741,294	718,137	670,566	622,396	562,214	542,225	522,235	502,246	-215,891	-5.6%
共済事業総利益	472,984	464,077	442,795	438,277	433,758	429,240	424,721	420,203	415,684	-27,111	-1.1%
購買事業総利益	287,748	282,383	274,169	267,465	260,762	254,058	247,354	240,651	233,947	-40,222	-2.6%
販売事業総利益	146,665	147,221	146,528	148,865	151,202	153,539	155,876	158,213	160,550	14,022	1.5%
その他事業総利益	148,698	142,710	145,463	144,181	142,899	141,617	140,336	139,054	137,772	-7,691	-0.9%
事業総利益(合計)	1,786,807	1,777,685	1,727,092	1,669,354	1,611,017	1,540,668	1,510,512	1,480,355	1,450,199	-276,893	-2.8%
事業管理費(合計)	1,626,435	1,610,210	1,583,001	1,583,001	1,583,001	1,583,001	1,583,001	1,583,001	1,583,001	目標利益	差額
【事業利益】	160,372	167,475	144,091	86,353	28,016	-42,333	-72,489	-102,646	-132,802	22,638	-155,440
事業外収益	102,826	104,978	113,618	113,618	113,618	113,618	113,618	0	0		
事業外費用	23,659	24,735	25,924	25,924	25,924	25,924	25,924	25,924	25,924		
【経常利益】	239,539	247,718	231,785	174,047	115,710	45,361	15,205	-128,570	-158,726		
特別損益	-57,949	-85,217	-51,684	-15,000	-15,000	-15,000	-15,000	-15,000	-15,000		
【税引前当期利益】	181,590	162,501	180,101	159,047	100,710	30,361	205	-143,570	-173,726		
法人税	-65,650	-44,743	-47,211	-34,693	-18,942	52	8,195	47,014	55,156	目標利益	差額
【当期純利益】	115,940	117,758	132,890	124,354	81,768	30,361	205	-143,570	-173,726	81,561	-255,287

事業管理費の減少(トレンド)	1.50%	1,583,001	1,559,256	1,535,867	1,512,829	1,490,137	1,467,785	1,445,768	
管理費削減トレンド事業利益			110,098	75,149	27,839	20,375	12,571	4,431	
事業利益+受取配当		219,627	205,202	147,464	89,127	18,778	-11,378	-41,535	-71,691

1. 決算見込み段階での成行シミュレーション

○決算見込みと確定決算値が大きく乖離する場合シミュレーションや事業計画の見直しが必要になる
 ＊スタートライン(R3年度)が異なると目標年次(R8年度)の結果が異なる

時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月
機関会議	理事会	理事会	理事会 ⇒事業計画	理事会 ⇒決算資料	理事会 ⇒確定決算 ⇒総代会資料	地区別座談会 総代会
決算	第3Q決算	資産査定 退給計算		R3年度決算	決算確定	
					監査	
個別コンサル 〈PDCA〉	第3四半期のPDCA ①成行シミュレーション(見込み) ②部門別計画(見込み) ③ロジックツリーの見直し(KGI、KPI) ④農業センサスの分析			R3年決算後のPDCA ①成行シミュレーション(確定値) ②部門別計画(確定値) ③ロジックツリーの見直し(KGI、KPI) ⇒理事会・総代会資料		
	中期計画・四半期PDCA			四半期PDCA		